

政策調整会議の概要

開催日 令和4年12月1日(木)

◎項目

- 1 令和4年9月分、10月分の時間外勤務の状況について【総務部】
- 2 ハラスメントに関するアンケート集計結果について【総務部】
- 3 地域おこし協力隊の活用について【中山間振興・交通部】
- 4 SDGsを意識した施策の推進について【総務部】
- 5 その他

◎内容

1 令和4年9月分、10月分の時間外勤務の状況について【総務部】

総務部より、令和4年9月分、10月分の時間外勤務の状況について、配付資料に基づき説明が行われた。

(総務部)

令和4年9月の時間外勤務は前年比37パーセント増であり、台風14号への対応やイベントなどの事業が本格化したことなどが要因となっている。令和4年10月の時間外勤務は前年比7.1パーセント増となっており、10月までの累計では前年比6.1パーセント増となっている。10月は予算編成作業が始まり、事業が本格化したことなどから月45時間超の者が増加しており、全庁的に忙しくなっていることから職員の健康管理についても所属長の目配りを願います。

2 ハラスメントに関するアンケート集計結果について【総務部】

総務部より、ハラスメントに関するアンケート集計結果について、配付資料に基づき説明が行われた。

(総務部)

セクハラについては、該当する事例への回答件数に対して、「自分がしたことがある(心当たりがある)」と回答した件数と大きな乖離があり、引き続きセクハラに対する理解を深める必要がある。パワハラについても直接的な行為は少ないものの一定の発生があったという結果になっている。セクハラ同様に、行為者の認識と発生件数に大きな差があったため、受け止め方に乖離があることを認識する必要がある。マタハラについては発生件数は少ないものの、若手職員が増えていることや男性の育児休業の取得も増えているため、言動には注意が必要である。今回の集計結果を受けて、相談窓口を改めて周知するので、各所属でも周知を願います。また、不適切な言動をお互いに指摘しあえる風通しの良い職場づくりを推進していただきたい。さらに、人権問題職場研修等の場でハラスメント対策ガイドブックを活用するなど、ハラスメントに関する理解を深めるようお願いする。

3 地域おこし協力隊の活用について【中山間振興・交通部】

中山間振興・交通部より、地域おこし協力隊の活用について、配付資料に基づき説明が行われた。

(中山間振興・交通部)

地域おこし協力隊の活用を依頼していたが、県版地域おこし協力隊では、令和5年度当初予算見積もりで前年度から10名増の13名の関連予算が要求されている。また、市町村における地域おこし協力隊の活用についても各部局から積極的な提案があった。今後も導入する機運を高めていきたいと考えており、他部局でも今回の活用方法を参考にしながら導入に向けた検討を願います。

4 SDGsを意識した施策の推進について【総務部】

総務部より、SDGsを意識した施策の推進について、配付資料に基づき説明が行われた。

(総務部)

本県においても、各般にわたる施策は、「SDGsの17の目標」の達成に寄与するとの考えの下、取り組みを推進している。しかしながら、SDGsの実現に向けては行政の取り組みだけでなく、県民や県内事業者に意義や目的などへの理解を深め、日々の生活や企業活動にSDGsの観点を積極的に取り組んでもらうことが重要である。そのため、継続した周知広報をしていただくよう、以前よりお願いしているが、改めて令和5年度に向けて計画の改定やバージョンアップなどを県民にPRする冊子等において、積極的にSDGsマークを掲載するようお願いする。

5 その他

警察本部より、自転車運転者のヘルメット着用について、配付資料に基づき説明が行われた。

(警察本部)

令和4年4月27日、改正道路交通法が公布され、1年以内にすべての自転車運転者のヘルメット着用が努力義務化される。また、令和4年11月1日に自転車安全利用五則も改正され、改正前は、「子どもはヘルメット着用」であったものが、「ヘルメットを着用」とされた。今後は、自転車に乗るときはヘルメットを着用することが当たり前ということになってくるので、各部局で職員に周知をお願いする。

○ 副知事

ハラスメントに関しては、周りが勇気を持って指摘することも重要と考える。そのためにも風通しの良い職場づくりをお願いする。

市町村における地域おこし協力隊の活用については、一次産業系が少ない印象があるので、検討のうえ各市町村に対して提案をお願いする。